

*専攻, 学生番号, 氏名を記入してください

専攻

学生番号

氏名

教育実践力育成のための学びの航跡

4つの力の指標と自己評価

<幼稚園教諭の教育実践力を構成する4つの力>

A 保育実践力	A1 保育内容を理解する力 A2 保育計画を立案する力 A3 保育を展開する力 A4 保育を分析・省察する力 A5 カリキュラム・マネジメント力	C 人間関係力	C1 対話・コミュニケーション力 C2 学級をマネジメントする力 C3 保護者・地域社会とつながる力
B 子供理解力	B1 子供の心身の発達と環境を理解する力 B2 子供の生活や遊びを理解する力 B3 子供の思い・人間関係を理解する力	D 教職として自己を高める力	D1 教師としての使命感・情熱・向上心 D2 教師像・教育観を更新する力 D3 チームとして成長する力

皆さんが記入すべきセルは、「水色」になっています。記入を済ませると、水色から変わりますので、入力し忘れを確認できます。

同様に、担当教員が記入すべきセル(サイン)は、「オレンジ」で示しています。シートは①～⑭まであります。

また、シートは学年進行順になっています。「橙」シートは、記入前に示した目標を確認すべきシートで「青」シートが皆さんが記入するシートです。

なりたい教師像

開始時

1年次 3学期開始後 事前の準備で記入

●あなたのなりたい幼稚園教諭像について記入しましょう

記入年月日: 年 月 日

終了時

4年次 教職実践演習最終日 自己評価最終で記入

●卒業後, 1年目にめざす幼稚園教諭像について記入しましょう

記入年月日: 年 月 日

教育実践力の4つの力について、卒業時に達成すべき到達目標（幼児教育専攻）

4年間の学びで達成すべき目標を示しています。この目標をゴールとして、1年次から講義や演習・実習などの学び、経験を意識し、獲得を目指しましょう

A 保育実践力の構成	卒業時の到達目標
A1 保育内容を理解する力	5領域の保育内容を具体的な実践に結び付け、理解し説明することができる。
A2 保育計画を立案する力	発達過程を踏まえ、ねらいを達成するための環境構成等に配慮した保育指導案を立案することができる。
A3 保育を展開する力	保育指導案に沿い、集団を意識しながら個々の発達に応じた保育を展開することができる。
A4 保育を分析・省察する力	自他の保育実践を分析し、よさや改善点を見出し、次の実践に活かすことができる。
A5 カリキュラム・マネジメント力	組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る視点を、園の実態に基づいて考え説明できる。

B 子供理解力の構成	卒業時の到達目標
B1 子供の心身の発達と環境を理解する力	保育実践に活かすよう、子供の発達の特徴を、家庭生活等の子供を取り巻く環境を踏まえて総合的に理解することができる。
B2 子供の生活や遊びを理解する力	保育実践に活かすよう、子供の生活の実態、集団や個々の発達過程を踏まえた遊びを具体的に理解することができる。
B3 子供の思い・人間関係を理解する力	保育実践に活かすよう、子供一人一人の内面や、子供同士の人間関係を具体的に理解することができる。

C 人間関係力の構成	卒業時の到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	様々な人と積極的にコミュニケーションを図り、協働するなかで、多様な考え方を受け入れつつ自分の考えを伝えることができる。
C2 学級をマネジメントする力	個と集団の育ちを意識し、教育目標に向かって、教職員と協働しながら学級を運営することができる。
C3 保護者・地域社会とつながる力	園と保護者、地域との連携・協力を大切にした活動に参加することができる。

D 教師として自己を高める力の構成	卒業時の到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	教師としての使命感・情熱・向上心をもっている。
D2 教師像・教育観を更新する力	今現在の自分の力量をふまえて、「卒業後、1年目にめざす教員像」に向かう取り組みができる。
D3 チームとして成長する力	活動を共にする仲間と目標を共有し、役割を分担してよりよい成果をあげることができる。

教育実践力の4つの力について、1年次に達成すべき到達目標（幼児教育専攻）

1年次の学びで達成すべき目標を示しています。この目標を意識し、講義、演習等に取り組みましょう。

1年次（1・2学期）は、**教職への意欲向上期**であり、教育実践の世界に誘い、教職に対する夢と希望をさらにふくらませることをねらいとしています。

1年次（3・4学期）は**教職実践理解期**であり、教育実践の諸構成要素および実践に関する知識理解をふくらませ、教育実践観を拡張することをねらいとしています。

A 保育実践力の構成	1年次の到達目標
A1 保育内容を理解する力	園における子供の興味関心や活動の姿について、観察する視点を挙げるができる。
A2 保育計画を立案する力	子供の活動に沿った計画の作成について、説明することができる。
A3 保育を展開する力	保育のねらい・内容と環境構成との関係性について、説明することができる。
A4 保育を分析・省察する力	遊びを通じた指導について、分析の視点を挙げて説明できる。
A5 カリキュラム・マネジメント力	保育の構想・実施・評価について、幼稚園教育要領との整合性を説明できる。

B 子供理解力の構成	1年次の到達目標
B1 子供の心身の発達と環境を理解する力	子供の発達的特徴を観察する視点について、説明することができる。
B2 子供の生活や遊びを理解する力	現代社会における子供の生活実態や遊びの特徴について、説明することができる。
B3 子供の思い・人間関係を理解する力	教師が子供の内面や人間関係をどのように観察し働きかけるのかについて、説明することができる。

C 人間関係力の構成	1年次の到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	コミュニケーションの中で、相手の意図や思いを理解しようと努力することができる。
C2 学級をマネジメントする力	教師の実践と幼稚園教育要領を基に、子供の多様性を説明することができる。
C3 保護者・地域社会とつながる力	講義で得た知見を通して家庭や地域での育ちや生活に対して関心をもつことができる。

D 教師として自己を高める力の構成	1年次の到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	学校教育をめぐる普遍的課題に関心をもつことができる。
D2 教師像・教育観を更新する力	教職に対する普遍的な期待を理解できる。
D3 チームとして成長する力	グループ活動等を通して、仲間と学びを深めることができる。

1年次 担当教員との面談の記録(3学期開始後・4学期末で実施)

事前

教育実践力の4つの力それぞれの卒業時の到達目標・1年次の到達目標を確認し、担当教員と面談で自分が伝えたこと、先生からの助言等、面談内容を記入しましょう

(3学期開始時) 1年次3学期開始後 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

事後

1年次4学期終了までに担当教員と面談し、自己評価の結果と今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(4学期終了時) 1年次4学期終了時 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

1年次 4学期末に自己採点(評価)を記入し、担当教員との面談時に説明しましょう。

1年次の学びを終えてみて、あなたが獲得したそれぞれの力を100点満点で採点してみましょう。そして、その理由を以下の項目に記入しましょう。
(授業や演習など、学べた科目を振り返りながら、理解できた経験を具体的にあげてみましょう)。記入内容は、担当教員との面談の時に説明し、助言を受けましょう。

記入年月日 年 月 日

教員サイン

教育実践力	自己採点(評価) (100点満点)	学べた具体的な内容・授業で理解できた事柄を記入しましょう	2年生において、できなかったことへの解決の取り組みや、やりたいことを記入しましょう。
保育実践力			
子供理解力			
人間関係力			
教師として自己を高める力			

教育実践力の4つの力について、2年次に達成すべき到達目標（幼児教育専攻）

2年次の学びで達成すべき目標を示しています。この目標を意識し、講義、演習等に取り組みましょう。

2年次（1・2学期）は1年次（3・4学期）から続いて**教職実践理解期**であり、教育実践の諸構成要素および実践に関する知識理解をふくらませ、教育実践観を拡張することをねらいとしています。

2年次（3・4学期）から3年次（1・2学期）は、**基礎的教育実践力養成期**であり、基礎的教育実践力を身につけ、多様な教育実践を経験する中でそれを高めることをねらいとしています。

A 保育実践力の構成	2年次の到達目標
A1 保育内容を理解する力	子供が活動に取り組む様子を、観察の視点に沿って説明できる。
A2 保育計画を立案する力	保育のねらいと、そのねらいを達成するための計画内容が具体的に説明できる。
A3 保育を展開する力	子供に必要な経験が得られる保育の展開が説明できる。
A4 保育を分析・省察する力	子供の学びと保育計画の関係性を説明できる。
A5 カリキュラム・マネジメント力	子供の実態と教材研究を統合した保育指導案（部分案）を作成することができる。

B 子供理解力の構成	2年次の到達目標
B1 子供の心身の発達と環境を理解する力	一人一人の子供について、観察する観点に従って言動を観察することができる。
B2 子供の生活や遊びを理解する力	一人一人の子供について、発達過程を踏まえ、生活や遊びの姿を把握し、説明することができる。
B3 子供の思い・人間関係を理解する力	子供のコミュニケーションの実態を観察し、必要な配慮や援助について説明できる。また、一人一人の子供に対して指導の意図をもって適切に対応することができる。

C 人間関係力の構成	2年次の到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	これまでの学修成果を活かして、教育（保育）実習に参加することができる。
C2 学級をマネジメントする力	学級経営と一人一人への関わりとの関係を自分なりに説明できる。
C3 保護者・地域社会とつながる力	幼児教育における保護者・地域との連携について、観察事例をもとに具体的に説明できる。

D 教師として自己を高める力の構成	2年次の到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	誠実公平かつ責任感を持って子供に接し、子供から学びともに成長することができる。
D2 教師像・教育観を更新する力	学校組織の一員として子供や保護者、地域社会から期待されていることがわかる。
D3 チームとして成長する力	学びを共有し、解決・改善につながる発展的なグループワークができる。

2年次 担当教員との面談の記録(1・3・4学期で実施)

1学期 2年生の到達目標を確認し、担当教員と面談で2年次で取り組みたいことなど、自分が伝えたこと、先生からの助言等、面談内容を記入しましょう

(1学期開始時) 2年次1学期始まる時期 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

3学期 2年次、3学期実習が始まる前までに担当教員と面談し、自己評価の結果と今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習前) 2年次3学期開始時 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、実習における準備や取り組みなど、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

4学期

2年次4学期終了までに担当教員と面談し、自己評価の結果と、今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習後)

2年次4学期終了時 面談日 年 月 日

教員サイン

<自分が先生に、実習での学びの成果の報告、目標達成における伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

2年次 4学期 実習終了後に自己採点(評価)を記入し,担当教員との面談時に説明しましょう。

2年次までの学びを振り返り,あなたが獲得したそれぞれの力を100点満点で採点してみましょう。そして,その理由を以下の項目に記入しましょう。
 (授業や演習など,学べた科目を振り返りながら,理解できた経験を具体的にあげてみましょう)。記入内容は,担当教員との面談の時に説明し,助言を受けましょう。

記入年月日 年 月 日

教員サイン

教育実践力	自己採点(評価) (100点満点)	学べた具体的な内容・授業で理解できた事柄を記入しましょう	3年生において,できなかったことへの解決の取り組みや, やりたいことを記入しましょう。
保育実践力			
子供理解力			
人間関係力			
教師として自己を高める力			

教育実践力の4つの力について、3年次に達成すべき到達目標を立案しましょう(幼児教育専攻)

4つの力について、2年次までの目標の達成状況および卒業時に到達する目標を確認し、3年次に到達する目標を自らで立案しましょう。

3年次(1・2学期)は2年次(3・4学期)から続いて、**基礎的教育実践力養成期**であり、基礎的教育実践力を身につけ、多様な教育実践を経験する中でそれを高めることをねらいとしています。

3年次(3・4学期)から4年次(1・2学期)は、**発展的教育実践力養成期**であり、教育実践をめぐる新しい課題について理解し、学校現場における自らの実践を振り返り、教育実践力を高めることをねらいとしています。

A 保育実践力の構成	3年次の到達目標
A1 保育内容を理解する力	
A2 保育計画を立案する力	
A3 保育を展開する力	
A4 保育を分析・省察する力	
A5 カリキュラム・マネジメント力	

B 子供理解力の構成	3年次の到達目標
B1 子供の心身の発達と環境を理解する力	
B2 子供の生活や遊びを理解する力	
B3 子供の思い・人間関係を理解する力	

C 人間関係力の構成	3年次の到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	
C2 学級をマネジメントする力	
C3 保護者・地域社会とつながる力	

D 教師として自己を高める力の構成	3年次の到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	
D2 教師像・教育観を更新する力	
D3 チームとして成長する力	

3年次 指導教員との面談の記録(1・3・4学期で実施)

1学期 3年生の達成目標を立案し、指導教員と面談で3年次で取り組みたいことなど、自分が伝えたこと、先生からの助言等、面談内容を記入しましょう

(1学期開始時) 3年次1学期始まる時期 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

3学期 3年次、3学期実習が始まる前までに、指導教員と面談し、自己評価の結果と今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習前) 3年次3学期開始時 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、実習における準備や取り組みなど、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

4学期

3年次4学期終了までに、指導教員と面談し、自己評価の結果と、今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習後)

3年次4学期終了時 面談日 年 月 日

教員サイン

<自分が先生に、実習での学びの成果の報告、目標達成におけて伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

3年次 4学期 実習終了後の面談までに自己採点(評価)を記入し,指導教員との面談時に説明しましょう。

3年次までの学びを振り返り,あなたが獲得したそれぞれの力を100点満点で採点してみましょう。そして,その理由を以下の項目に記入しましょう。
(実習や授業・演習など,学んだ科目を振り返りながら,理解できた経験を具体的にあげてみましょう。ボランティア等の活動の内容も含まれます。)

記入年月日 年 月 日

教員サイン

教育実践力	自己採点(評価) (100点満点)	学べた具体的な内容・授業で理解できた事柄を記入しましょう	4年生において,できなかったことへの解決の取り組みや,やりたいことを記入しましょう。
保育実践力			
子供理解力			
人間関係力			
教師として自己を高める力			

教育実践力の4つの力について、4年次に達成すべき最終到達目標を立案しましょう（幼児教育専攻）

4つの力について、3年次までの目標の達成状況および卒業時に達成すべき到達目標を確認し、自らの4年次の最終到達目標を立案しましょう。

3年次（3・4学期）から4年次（1・2学期）は、**発展的教育実践力養成期**であり、教育実践をめぐる新しい課題について理解し、学校現場における自らの実践を振り返り、教育実践力を高めることをねらいとしています。

4年次（3・4学期）は、**採用前研修期**であり、教育実践を研究する力量及び即実践力としての教育実践力を高めることをねらいとしています。

A 保育実践力の構成	4年次の最終到達目標
A1 保育内容を理解する力	
A2 保育計画を立案する力	
A3 保育を展開する力	
A4 保育を分析・省察する力	
A5 カリキュラム・マネジメント力	
B 子供理解力の構成	4年次の最終到達目標
B1 子供の心身の発達と環境を理解する力	
B2 子供の生活や遊びを理解する力	
B3 子供の思い・人間関係を理解する力	
C 人間関係力の構成	4年次の最終到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	
C2 学級をマネジメントする力	
C3 保護者・地域社会とつながる力	
D 教師として自己を高める力の構成	4年次の最終到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	
D2 教師像・教育観を更新する力	
D3 チームとして成長する力	

4年次 指導教員との面談の記録(1・3・4学期で実施)

1学期 4年生の到達目標を立案し、指導教員と面談で4年次で取り組みたいことなど、自分が伝えたこと、先生からの助言等、面談内容を記入しましょう

(1学期開始時) 4年次1学期始まる時期 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

3学期 4年次、3学期教職実践インターンシップが始まる前までに、指導教員と面談し、自己評価の結果と今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習前) 4年次3学期開始時 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

4学期

4年次4学期終了までに、指導教員と面談し、自己評価の結果と、初任時に向けて取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習後)

4年次4学期終了時 面談日 年 月 日

教員サイン

<自分が先生に、教職実践インターンシップがでの学びの成果の報告、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

4年次 4学期 教職実践インターンシップ終了後の面談までに自己採点(評価)を記入し,指導教員との面談時に説明しましょう。

4年間の学びを振り返り,あなたが獲得したそれぞれの力を100点満点で採点してみましょう。そして,その理由を以下の項目に記入しましょう。
(教職実践インターンシップや授業・演習など,学んだ科目を振り返りながら,理解できた経験を具体的にあげてみましょう。ボランティア等の活動の内容も含まれます。)

記入年月日 年 月 日

教員サイン

教育実践力	自己採点(評価) (100点満点)	学べた具体的な内容・授業で理解できた事柄を記入しましょう	初任時において準備したいこと・すべきことを記入しましょう
保育実践力			
子供理解力			
人間関係力			
教師として自己を高める力			

以上を記入後,シート①『なりたい教員像』に戻り,『卒業後,1年目にめざす幼稚園教諭像』について記入した上で,面談を受けましょう。